

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ロバート・オウエンの思想](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

ロバート・オウエンの思想

アダム・スミスは、自由競争という考え方を基本とした「国富論」を執筆した。

新大陸アメリカでは、スミスの経済学の基本である自由競争による国づくりを追求した。

「競争こそが富と進歩を生み出す」という自由競争経済学は、さまざまなバリエーション（古典経済学、新古典派経済学、シカゴ学派、オーストリア学派、ケインズ学派、等々）を生み出しながら、現在に至るまでの社会の基本的な考え方として定着していく。

競争することこそが結果的に社会全体の利益となるという「市場メカニズム」は「神のみえざる手」とも呼ばれる。

個人が経済的利益を求めて行動することは正しいことで、そのためには品質がいいもののでできるだけ安く売ることにつながるはずだからよいことだし、品質を落としたり、高く売りつけようとすれば淘汰される。

まさに「神のみえざる手」の所以である。

しかし、現実には「神の手」が及ばぬところもあり、自由競争社会が生み出した深刻な弊害に取り組みようとする人々も数多く存在していた。

産業革命当時の労働者の生活状態は悲惨だった。

マルクスの片腕として有名なエンゲルスが、当時の新聞記事をもとに当時の状況を詳しく記録している。

「パンや小麦粉には石灰など不純物が大量に混ぜられている。

コーヒーやココアは泥からつくられ、使い切った紅茶は回収され、乾燥され、色づけされて再利用される。

店に置いてある秤もインチキで、実際よりも商品が重く計量された。

夜泣きする乳児を眠らせるために売られていた「乳児酒」は、ジンやアヘンを甘く味つけされたものだった」

世界第一の経済大国イギリス、そのなかでももっとも商工業が進んだマンチェスターでさえこのような状況であった。

そうした現実を目にして、自由主義の経済学とは全く異なった社会観を抱き、それを磨いて育て上げたのが、ロバート・オウエンという工場経営者だった。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.